

団体名	〇〇 大 学 院 大 学 院 短期大学			阪神研究室	
問い合わせ先 (担当者)	職名		ふりがな 氏名	(あまがさき いちろう) 尼崎 一郎	
	住所	〒660-8588 〇〇市△△町××1-2-3			
	TEL	090-1234-5678	FAX	06-1234-5678	
	E-Mail アドレス	Amagasaki.ichiro@email.com			

(別紙1)

## 事業計画書

- 1 応募枠 (どちらか一つに○) 【1. 一般 2. 学生チャレンジ枠】
- 2 事業区分 (どれか一つに○) 【1. 一般 2. 阪神間モダニズム 3. 阪神南ベイエリア 4. インフラ】
- 3 提案する事業の名称 尼崎市の地域団体と連携した〇〇地域活性化事業
- 4 活動の対象地域 尼崎市
- 5 連携する大学・地域団体・事業者 (適宜列追加ください。)

		①	②	③
連携する大学 地域団体 事業者等		〇〇協議会		
代 表 者	職 名	会長		
	氏 名	△△ △△		
担当者職氏名※		●● ●●		
担当者連絡先※		06-1234-5678		
構成人員数		20 人		
具体的な連携内容		〇〇ツアーを実施予定。		
既に実施している 活動の内容 (あれば)				
つながり交流祭 参加有無		参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加

※阪神南県民センターより確認の連絡を行う場合があります。

※上記に記入された団体・事業者にはつながり交流祭 (R8. 12 月頃開催) に参加していただきます。  
いずれの団体・事業者も正当な理由なく不参加の場合、連携が無いものとみなして補助対象外とさせていただきます。

## 6 提案する事業の概要

<p><b>[現状と課題]</b> * 事業計画のきっかけとなった、地域が抱えている現状や課題をご記入ください。 〇〇市は、様々な芸術文化やスポーツの発祥の地であるが、まだ多くの人に知られていないのが現状である。</p>
<p><b>[事業目的・趣旨]</b> 地域の団体と協働し、〇〇市の伝統的な芸術文化やスポーツを市民の方々に実際に見たり体験してもらうイベントを開催し、〇〇市の魅力を再発見するきっかけを与える。</p>
<p><b>[事業の概要]</b> * 対象者、実施方法、周知方法等、取組みの具体的な内容をご記入ください。 〇〇市にある〇〇美術館や△△博物館を巡るツアーを開催する。また、〇〇市で生まれたスポーツを体験できる参加型イベントを開催する。〇〇市以外の方々にも知ってもらえるようにチラシ配布による周知だけでなく、SNS を活用した広報活動も行う。</p>
<p><b>[事業の進め方]</b> * 月日、場所、参加人数など記載できる範囲で 〇月〇日 〇〇ツアー 実行委員会打合せ 場所：〇〇市民センター 〇月〇日 〇〇ツアー 当日 場所：〇〇美術館、△△博物館 〇月〇日 〇〇スポーツフェスティバル 実行委員会打合せ 場所：〇〇大学 〇月〇日 〇〇スポーツフェスティバル 当日 場所：〇〇市スポーツセンター ※週に一度、大学内にて学生で打合せを行う予定。</p>
<p><b>[想定される事業効果]</b> * 地域連携の推進（地域の活性化）にどう役立つかを具体的に記入してください。 学生と地域団体の協働による〇〇地域での取組を広げていくことで、〇〇市の魅力を発信していくことにも繋がると考える。</p>

## 7 確立される新たな活性化手法

<p><b>[従来の活性化手法の問題、課題]</b> イベントの広報活動といえば、チラシ配布や市の広報誌への掲載が主流であるが、紙媒体だけでは、範囲や部数に限界がある。</p>
<p><b>[新たな活性化手法の概要]</b> SNS を活用し、〇〇市だけでなく、他の地域の方々にも〇〇市の魅力や当方企画のイベントを知ってもらえるような広報を行う。</p>
<p><b>[従来の活性化手法との違い]</b> 学生や若い世代に〇〇市の魅力や当方企画のイベントを知ってもらうため、□□や☆☆等の SNS ツールを活用した広報を行う。画像だけでは伝わらない〇〇市の魅力を、動画での投稿で、よりイメージが深まるような発信を行う。</p>
<p><b>[継続事業に加えた新たな取組]</b> * 継続事業の場合のみ記載してください。 昨年度まではチラシやポスターのみでの広報であったが、今年度は SNS を活用した広報活動も行う。そして、チラシやポスターによる広報と SNS を活用した広報による集客の効果測定を行い、〇〇市の魅力発信に効果的な広報のあり方を新たに提案する。</p>

(別紙2)

## 収支予算内訳書

### (1) 収入の部

区 分	金 額 (円)	内 訳
県補助金	200,000	大学生による地域活性化支援事業補助金
他の補助金・助成金		
協賛金・広告料		
自己資金	30,000	
その他	20,000	イベント参加費 200 円×100 人
合 計	250,000	

注：科目は、県補助金、他の補助金・助成金、協賛金・広告料、自己資金、その他に分けて記載すること

### (2) 支出の部

区 分	金 額 (円)	内 訳
補助対象事業費	フィールド活動費	80,000 学生・指導教員の旅費 (〇円×〇人) 20,000 フィールドワーク指導専門家への謝金 30,000 フィールドワーク図書購入費 20,000 〇〇の試作にかかる原材料費 10,000 <b>※試作品販売の際にかかる材料費は対象外です。</b>
	イベント運営費	70,000 イベント用テント・パイプ椅子借上費 50,000 チラシ郵送料 (〇円×〇通) 5,000、イベント保険料 5,000 イベント資料印刷 (〇部) 5,000、イベント受付用文具 5,000
	広報・宣伝費	50,000 ポスター・チラシ作成費 (〇部) 20,000 ポスター・チラシ印刷費 (〇部) 20,000 チラシ郵送料 (〇円×〇通) 10,000
	小 計	200,000
事業対象外	フィールド活動費	20,000 イベント参加者・スタッフ弁当 10,000 ガソリン代 5,000、レンタカー借上費 5,000
	イベント運営費	30,000 備品購入費 (クーラーボックス) 20,000 参加者ノベルティ 10,000
	小 計	50,000
合 計	250,000	

注 ・内訳は、フィールド活動費、イベント運営費、広報・宣伝費に分けて記載すること  
・収入と支出の合計は一致すること

(別紙3)

## 団 体 概 要 書

(ふりがな) 団 体 名	〇〇 大 学 大 学 院 短 期 大 学	阪神研究室	構 成 員 人 数	30 人
(ふりがな) 代 表 者 氏 名	(ひょうご たろう) 兵 庫 太 郎		学 年	4 回 生
所 在 地 (連 絡 先)	〒660-8588 〇〇市△△町××1-2-3 TEL 090-1234-5678 FAX 06-1234-5678			
ホ ー ム ペ ー ジ の URL	http://			
E-Mail	marumarudaigaku.marumaruzemi@email.com			
(ふりがな) 担 当 者 氏 名	(あまがさき いちろう) 尼 崎 一 郎			
担 当 者 連 絡 先	〒660-8588 〇〇市△△町××1-2-3 TEL 080-1234-5678 FAX 06-1234-5678			
担 当 者 E-Mail	Amagasaki.ichiro@email.com			
(ふりがな) 教 員 氏 名	(はんしん) 阪 神 み な み			
設 立 年 月 日 及 び 設 立 目 的	設 立 年 月 日	平成 15 年 5 月		
	(設 立 目 的)	市民の創意と参加によって、住みよい□□地域を目指すことを目的とする		
活 動 実 績	※これまでの活動実績があれば記載してください。 ・防災訓練の実施 (□□防災連絡協議会と協働) ・□□夏祭りの開催 (子ども会・婦人会と協働) ・地域清掃活動 ・ふれあい喫茶の運営 ・□□文化祭 (老人会と協働)			
主 な ス タ ッ プ の プ ロ フ ィ ー ル	阪神みなみ (社会学部 准教授) 研究室 4 年 生 : 15 名 3 年 生 : 17 名 2 年 生 : 19 名			

注1 : 代表者は学生名としてください。(教員の指導がある場合は、教員氏名欄にご記入ください)

注2 : サークル・研究室・ゼミの概要、フィールド活動を行っている場合はその内容、参加教員、学生名簿等を添付すること